

Life WASEDA UNIVERSITY
人生100年時代の大学

Redesign

College

遅すぎる学びはない。

Life WASEDA UNIVERSITY
人生100年時代の大学

Redesign

College

遅すぎる学びはない。

入学説明会

2023年12月9日

早稲田大学 教務部社会人教育事業室

人生100年時代の到来

仕事を継続する方々の
働き方の多様化へのニーズ

仕事/子育てを卒業した方々の
生き方の多様化へのニーズ



プレシニア～シニアが幸福感や充実感を持って人生の後半を生きる社会をつくることは、**高齢化最先進国である日本の重要な課題**

下記のようなニーズを持つ 50歳以上のプレシニア・シニア層の方々

これまでの仕事や経験
とは異なる新しいこと
を学びたい

これまでの経験を
活かして学びを
深めたい

人や社会と繋がり続け、
共に学ぶことの喜びを
享受したい

社会や次世代のために
貢献したい

自身の知識や経験を
次世代に伝承したい

受講期間	<p>年間4学期制</p> <ul style="list-style-type: none">・春学期、夏学期、秋学期、冬学期の4学期制を採用・学びのサイクルを短くすることで、効率的に多くの科目の受講が可能・4月入学、翌年3月修了
受講方法	<p>通学制</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティ形成を重視し通学制で開校（一部オンラインあり）・授業実施曜日は火曜日、木曜日、土曜日の週3日 (オープンカレッジ講座は他の曜日も開講)

Life Redesign 科目群	本カレッジのベースとなる科目群
専門科目群	多様な個々人のニーズを満たす科目群
ゼミナール	関心を共有するメンバーとの学びの深化
クラスワーク (科目ではないが原則参加)	1年を通して同じメンバーで活動

Life Redesign科目群

新たなコミュニティへの参加マインドを整え、経験/強み/潜在的な欲求を振り返り、これからの人生の方向性を描く

専門科目群

Social Issues (社会課題) 領域

今日の社会課題と解決方法を
体系的かつ実践的に学ぶ

Liberal Arts (教養) 領域

見識・知識を拡大、深化させ
教養の基盤を強化する

Communication (表現・伝承) 領域

新たな表現法、効果的なメディア活用
先端的な発信スキルを習得する

Seminar (ゼミナール)

自身の関心を深化させ、今後のライフデザインと関連付けてまとめ上げる

導入となる科目群

- 今までの人生の振り返りや知識・経験の棚卸しを行う
- これからの生き方をデザインするための土台となる知識や思考法を学ぶ
- 主に春学期と夏学期に受講。

科目名（変更の可能性あり）	担当講師（変更の可能性あり）
【必修】人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～ ※	蛭原 恵子 （株式会社インソース シニア講師）
【選択必修】ジェロントロジーを学ぶ～幸齢人生の基礎知識～	一般社団法人日本応用老年学会 安藤孝敏（講師代表）他
【選択必修】クリエイティブシンキング～未来社会の創造的考察～	横田 幸信 （i.school ディレクター、i.lab代表取締役）
【選択必修】異文化コミュニケーション	花光 里香（早稲田大学教授）
【選択必修】アンガーマネジメント～自分も相手もOKになる解決方法を学ぶ～	本田 恵子（早稲田大学教授）他

※本講義では4回の集中講義を実施します。2024年度の日程は初回は4月13日（土）、2回目の6月29日（土）、3回目の9月21日（土）、4回目は12月21日（土）です。全体をA・Bの2グループに分け、各日ともにAグループは午前に、Bグループは午後に集中講義を受講いただきます。グループ分けは大学が行います。

3つの領域

- Social Issues (社会課題)
- Liberal Arts (教養)
- Communication (表現・伝承)

科目履修

- 各領域に必修科目（選択必修を含む）を設置。
- 必修科目（選択必修を含む）以外は、各自の関心に応じて自由に科目を受講。
- 3つの領域を横断的に学ぶことも可能。

- ・社会課題解決・社会貢献に取り組む際のベースとなる知識を身につけるため、国内外で起こっている社会課題の現状を知り、課題解決方法を実践的に学ぶ（企業/自治体/個人のケーススタディ、体験、実践者との対話等）

科目名 (変更の可能性あり)	担当講師 (変更の可能性あり)
【必修】 サステイナブル・ディベロプメント	黒川 哲志 (早稲田大学教授)
【選択必修】 持続可能な社会とNPO/NGOの役割	若林 秀樹 (国際協力NGOセンター理事/THINK Lobby 所長)
【選択必修】 SDGsとソーシャルビジネス	土肥 将敦 (法政大学教授)
【選択必修】 社会貢献概論～あなたの知識と体験を生かすために～	兵藤智佳 (早稲田大学准教授)
【選択必修】 日本の課題を読み抜く～個人はどう向き合うべきか～ (2024年度新規設置予定)	(調整中) イマジニア株式会社との協議中
【選択】 あなたの体験を社会貢献に生かす方法論～実践編～	岩井 雪乃 (早稲田大学准教授)
【選択】 名称のみ (仮) 食料・農業・農村問題入門 ～～再生の道を考える～	柏 雅之 (早稲田大学教授)
【選択】 頻発する災害に市民はいかに向き合うべきか ～災害現象への理解と基本的な備え～	浦野 正樹 (早稲田大学名誉教授)
【選択】 課題解決に向けた事業創造プラクティス～リアルな社会課題、地域課題に向き合う～	伊藤 淳司 (NPO法人ETIC.ローカルイノベーション事業部 事業部長)
【選択】 ケーススタディ (NPO・NGO) ～NPO・NGOの理解と実務～	上田 英司 (NPO法人日本NPOセンター 事務局次長)
【選択】 (仮) ジェンダー平等を考える	(仮) 村田 晶子 (早稲田大学教授)、ほか
【選択】 SDGsと教育	黒田 一雄 (早稲田大学教授)
【選択】 地方創成・地域活性化の理論と実践	中村 健 (一般社団法人地域経営推進センター 代表理事)

自身のニーズと希望に合わせて幅広く学ぶ

- ・ 既存の知見をさらに深める
- ・ 今まで学ぶ機会のなかった新たな学問に挑戦する
- ・ 新たな視点を得る
- ・ Social IssuesやCommunicationを学修する過程で必要と感じる知識を補う など

必修科目「アカデミックリテラシー」のほか、本学の公開講座「オープンカレッジ」（年間約1,600講座〈内300講座はオンラインで受講可能〉）から希望の科目を選択して受講。LRCの受講生は「オープンカレッジ」の講座を**制限なく受講可能**

科目名	担当講師
【必修】アカデミック・リテラシー～ 学びを深めるための方法と研究を行うための基礎～	守口剛（早稲田大学教授）、ほか
【選択】公開講座「オープンカレッジ」年間設置約1,600講座より選択	各講座による

今まで培ったスキルや知識を今後も有効に活用し、自身および自身が扱う事柄について効果的に発信するための学び

ライティングやプレゼンテーション手法、表現力をブラッシュアップ、コミュニケーションツールとなる現代メディアの特徴や使い方を習得

株式会社電通プロデュースによる実践的かつ先端的な授業の提供

科目名 (変更の可能性あり)

担当講師 (変更の可能性あり)

【必修】 タイトルのみ (仮) メディアリテラシー	高橋 恭子 (早稲田大学教授)
【選択】 国際性格検査MBTI®を活用した自己分析※	アースシップ・コンサルティング 代表 松山 淳
【選択】 伝えるための言葉の技術	株式会社電通所属のコピーライター複数名を予定
【選択】 シニアマーケティング・若者学	斉藤徹・小島雄一郎
【選択】 伝えるための表現ステップ～アウトプットのプロセスを習得する	(電通と調整中)
【選択】 自己表現のための現代メディア	(電通と調整中)
【選択】 表現手法(プレゼンテーション)	(電通と調整中)
【選択】 表現手法(ライティング)	(電通と調整中)

※2024年度は6月25日(火)と6月27日(木)の10時～17時30分の集中講義を予定。履修する場合はいずれかの日を選択。10名以上の履修が集まらなかった場合はその日の開講を中止。また、片方の日程に40名以上の登録希望者が集中した場合は日程の変更をお願いする場合がある。

ゼミナール概要

- 修了後の自身のライフデザインと関連付けてゼミを選択
- 各自の学びを深め、今後の方向性も勘案して成果物（修了論文、修了リサーチペーパー、修了制作）を作成することがゼミナール修了の要件

6つのゼミナール

- 6つのゼミナールを設置、各ゼミナールに15名前後が所属する。
- 秋学期・冬学期に開講、土曜日の14時50分～16時20分、もしくは16時40分～18時10分に開講

科目名（副題は秋学期のもの）（変更の可能性あり）	担当講師（変更の可能性あり）
Social Issuesゼミ 1～社会課題の構図と論点を見極める～	吉田 徳久（早稲田大学名誉教授）
Social Issuesゼミ 2～社会問題とその取り組みに向けたシニアの活躍を考える～	和田 修一（早稲田大学名誉教授）
Liberal Artsゼミ 1～判ること、知ることの感動～	橋本 周司（早稲田大学名誉教授）
Liberal Artsゼミ 2～研究の方法を学び実践する～	守口 剛（早稲田大学教授）
Liberal Artsゼミ 3～研究の方法を学び、自分の研究に応用する～	白木 三秀（早稲田大学名誉教授）
Communicationゼミ	（電通と調整中）

クラスワーク概要

- コミュニティの活性化を目的として、ゼミなどの科目とは別に、15～20人からなるクラスに所属
- 1年を通じて同じ仲間とともに伝統的な哲学や思想をベースに議論し、共に考えを深める
- 本学の名誉教授など大学での教員歴が豊富な講師が担当

クラスワーク制度

- 各学期4回（隔週）、土曜日の10時30分～12時に開講
- 全員参加を原則とするが、履修要件には含めない（科目ではない）

クラスワーク担当講師（変更の可能性有り）

古賀 勝次郎（早稲田大学名誉教授）

佐藤 正志（早稲田大学名誉教授）

土田 健次郎（早稲田大学名誉教授）

川口 浩（早稲田大学名誉教授）

クラスワーク担当講師メッセージ一例（佐藤正志名誉教授）



早稲田大学教授を定年退職。早稲田大学大学院政治学研究科長、同政治経済学術院長・政治経済学部長、早稲田大学理事を歴任。『ホッブズ、リヴァイアサン』（共著、有斐閣、1978年）、『政治学講義』（共編著、早稲田大学出版部、1989年）、『政治思想のパラダイム—政治概念の持続と変容』（新評論、1996年）、『政治概念のコンテクスト—近代イギリス政治思想史研究』（共編著、早稲田大学出版部、1999年）、『啓蒙と政治』（編著、早稲田大学出版部、2009年）、『現代政治理論』（共編著、おうふう、2009年）、『多元主義と多文化主義の間—現代イギリス政治思想史研究』（共編著、早稲田大学出版部、2013年）。

メッセージ

私の専門は、初期近代と啓蒙を中心とした西洋政治思想史、および政治哲学・規範的政治理論で、とくに、ホッブズやルソー、古典的政治哲学の伝統や公共哲学などに関心をもってきました。クラスワークは、共に学び合うことを目標に、お互いの問題関心や現代の社会的課題などについて自由なディスカッションを行う場になればと思っています。また古典を一緒に読みながら、リベラル・アーツの意味なども共に考える時間も持ちたいと思います。さらに、これから何を学ぶのか、どのように学べばよいのかといったことについても情報を出し合えるとよいのではないのでしょうか。こうしたクラスでの活動が、語りあうコミュニティの中でそれぞれの人が自らの生の意味を考えながら新しいライフ・ステージに踏み出してゆくきっかけとなることを願っています。私もまたこの場で学びたいと思っています。

- 授業は火曜日、木曜日、土曜日の週3日実施※
- 午前1コマ（10時30分～12時）と午後2コマ（13時～14時30分、14時50分～16時20分）に実施
 - ※一部の科目および秋学期からのゼミは16時40分～18時10分の可能性あり
- 専門科目群のLiberal Arts（教養）領域の選択科目は、本学エクステンションセンターが展開するオープンカレッジの講座（年間約1,600講座/オンライン300講座を含む）から受講
 - ※オープンカレッジは月曜日から土曜日の終日、科目を開講してるため、どの科目を受講するかによっては週4日以上を受講となる場合あり
 - ※オープンカレッジのオンライン講座は録画データ視聴による事後受講も可能

カリキュラム | プログラム修了要件

- 1年間で12科目以上の科目の修了が必須要件
- 各科目を修了するために、各科目2/3以上の出席と、課題の提出（科目による）が必要
- それぞれの科目は90分×7回の講義で構成（オープンカレッジ科目を除く）

科目群	必修/選択	修了要件科目数	備考
Life Redesign 科目群	必修	1科目	① 4月13日（土）午前or午後 ② 6月29日（土）午前or午後 ③ 9月21日（土）午前or午後 ④ 12月21日（土）午前or午後
	選択必修	2科目	指定の4科目から2科目選択、登録上限は3科目
専門科目群	必修	3科目	
	選択必修	1科目以上	Social Issues領域の指定の4科目から1科目以上選択、登録上限は3科目
	選択	3科目以上	3領域の科目から選択
ゼミナール	必修	2科目	秋学期1科目、冬学期1科目の計2科目 原則同一講師によるゼミナールを受講
合計		12科目以上	

カリキュラム | 学期別曜日別設置予定科目数 (集中科目を除く、LRCオリジナル科目のみ※クラスワークを含む)

※時間割は12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

学期	時限	火	木	土
春	1	—	選択 (SI)	クラスワーク 選択必修 (SI)
	2	選択必修 (LR)	選択 (SI)	必修 (SI)
	3	選択必修 (SI)	選択必修 (SI)	必修 (LA)
合計科目数		2	3	4

学期	時限	火	木	土
夏	1	—	—	クラスワーク 選択必修 (SI)
	2	選択 (C)	選択 (C)	必修 (C)
	3	選択必修 (LR)	選択必修 (SI)	選択必修 (LR)
合計科目数		2	2	4

学期	時限	火	木	土
秋	1	—	—	クラスワーク
	2	選択 (SI)	選択 (C)	選択必修 (LR)
	3	選択 (C)	選択 (SI)	必修 (S)
	4	選択 (SI)	—	—
合計科目数		3	2	3

学期	時限	火	木	土
冬	1	—	—	クラスワーク
	2	選択 (C)	選択 (SI)	選択 (SI)
	3	選択 (SI)	選択 (C)	必修 (S)
	4	—	—	—
合計科目数		2	2	3

LR : Life Redesign科目群、SI : 専門科目群Social Issues領域、LA : 専門科目群Liberal Arts領域、C : 専門科目群Communication領域、S : ゼミナール、 (赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

- ・春学期、夏学期は**必修**、**選択必修科目**で埋まるコマが多いが、秋学期以降は土曜日を中心に希望する選択科目を履修する。
- ・**LR必修科目**「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」は春学期 (初回 4月13日午前or午後)、春学期 (第2回 6月29日午前or午後)、夏学期 (第3回 9月21日午前or午後)、冬学期 (第4回12月21日午前or午後) に設置予定

カリキュラム | 学期別時間割予定 (春学期) ※集中科目を除くLRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土	
1	—	SDGsと教育 (SI)	クラスワーク (隔週開講)	日本の課題を読み抜く (SI) (隔週開講)
2	異文化コミュニケーション (LR)	地方創成・地域活性化の理論と実践 (SI)	サステイナブル・ディベロプメント (SI)	
3	SDGsとソーシャルビジネス (SI)	社会貢献概論 (SI)	アカデミック・リテラシー～ 学びを深めるための方法と研究を行うための基礎～ (LA)	

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、S：ゼミナール、（赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目）

・春学期の土曜日は**必修科目**、**クラスワーク**、**選択必修科目**でコマが埋まる。

※【要注意】土曜日だけの通学で修了を目指す場合、春学期土曜日の**選択必修科目 (SI)**は履修必須となる。

・「日本の課題を読み抜く」は、春学期3回と夏学期3回の計6回の講義で構成されている。

・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」の初回を4月13日（土）と第2回を6月29日（土）に実施。両日ともに全体をA・Bの2グループに分けて、Aグループは午前、Bグループは午後に受講（半日の集中講義）。

・本時間割以外にCの選択科目「国際的性格検査MBTI®を活用した自己分析」を6月25日（火）と6月27日（木）の10時～17時30分の集中講義を予定。履修する場合はいずれかの日を選択。10名以上の履修が集まらなかった場合はその日の開講を中止。また、片方の日程に40名以上の登録希望者が集中した場合は日程の変更をお願いする場合があります。

カリキュラム | 学期別時間割予定 (夏学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク (隔週開講) 日本の課題を読み抜く (SI) (隔週開講)
2	シニアマーケティング・若者学 (C)	伝えるための言葉の技術 (C)	名称のみ (仮) メディアリテラシー (C)
3	クリエイティブシンキング ～未来社会の創造的考察～ (LR)	持続可能な社会と NPO/NGOの役割 (SI)	ジェロントロジーを学ぶ (LR)

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、S：ゼミナール、（赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目）

・夏学期の土曜日は**必修科目**、**クラスワーク**、**選択必修科目**でコマが埋まる。

※【**要注意**】土曜日のみの通学で修了を目指す場合、夏学期土曜日の**選択必修科目 (SI)** および**選択必修科目 (LR)** は履修必須となる。

・「日本の課題を読み抜く」は、春学期3回と夏学期3回の計6回の講義で構成されている。

・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」を9月21日（土）に設置予定。全体をA・Bの2グループに分けて、Aグループは午前、Bグループは午後に受講（半日の集中講義）。

カリキュラム | 学期別時間割予定 (秋学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク (隔週開講)
2	あなたの体験を社会貢献に生かす方法論 ～実践編 (SI)	自己表現のための現代メディア (C)	アンガーマネジメント (LR)
3	伝わるための web ライティング手法 (C)	名称のみ (仮) 食料・農業・農村問題入門 ～再生の道を考える～ (SI)	ゼミナール (S)
4	(仮) ジェンダー平等を考える (SI)	—	—

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、S：ゼミナール、（赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目）

- ・秋学期より必修科目（ゼミ）と選択必修科目は土曜日でのみの開講となる。自身のテーマに合わせて選択科目やオープンカレッジ講座を受講する。
※【要注意】土曜日でのみの通学で修了を目指す場合、秋学期土曜日の選択必修科目（LR）は履修必須となる。
- ・ゼミナールでの課題や1年間の集大成となる成果物（論文、リサーチペーパー、制作物）に取り組む。
- ・本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」を12月21日（土）に設置予定。全体をA・Bの2グループに分けて、Aグループは午前、Bグループは午後に受講（半日の集中講義）。

カリキュラム | 学期別時間割予定 (冬学期) ※ LRCオリジナル科目のみ (クラスワークを含む)

※時間割は12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

時限	火	木	土
1	—	—	クラスワーク
2	表現手法(ライティング) (C)	課題解決に向けた事業創造プラクティス～ リアルな社会課題、地域課題に向き合う～ (SI)	ケーススタディ (NPO・NGO) ～NPO・ NGOの理解と実務～ (SI)
3	頻発する災害に市民はいかに向き合う べきか ～災害現象への理解と基本 的な備え～ (SI)	表現手法(プレゼンテーション) (C)	ゼミナール
4			—

LR：Life Redesign科目群、SI：専門科目群Social Issues領域、LA：専門科目群Liberal Arts領域、C：専門科目群Communication領域、
S：ゼミナール、(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

- ・冬学期も秋学期同様、必修科目 (ゼミ) は土曜日でのみの開講となる。自身のテーマに合わせて選択科目やオープンカレッジ講座を受講する。
- ・ゼミナールでの課題や1年間の集大成となる成果物 (論文、リサーチペーパー、制作物) に取り組む。

(土曜日のみ通学・最少登録科目Ver：春学期・夏学期の一例※集中講義を除く)

春学期 (※水曜日夜間にオープンカレッジオンライン講座受講)

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講) / 日本の課題を読み 抜く (SI) (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			サスティナブル・ディベ ロップメント (SI)
3時限目 (14:50~16:20)			アカデミックリ テラシー (LA)

夏学期 (※水曜日夜間にオープンカレッジオンライン講座受講)

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講) / 日本の課題を読み 抜く (SI) (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			名称 (仮) メディ アリテラシー (C)
3時限目 (14:50~16:20)			ジェロントロジー を学ぶ (LR)

(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

本例は最少登録Verのため、空いている曜日・時限に他の科目 (オープンカレッジ科目を含む) を入れることは可能

※修了に必要な選択科目3科目の内の2科目をオープンカレッジのオンライン講座で自宅や外出先から受講する (録画データ視聴による事後受講も可能) ことを想定

※本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」の初回を4月13日 (土)、第2回を6月29日 (土)、第3回9月21日 (土) に実施。いずれの日程も全体をA・Bの2グループに分けて、Aグループは午前、Bグループは午後に受講 (半日の集中講義)。

秋学期

	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			アンガーマネジ メント (LR)
3時限目 (14:50~16:20)			ゼミナール

冬学期

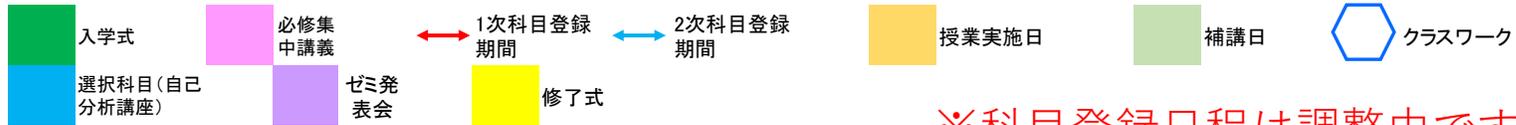
	火	木	土
1時限目 (10:30~12:00)			クラスワーク (隔週開講)
2時限目 (13:00~14:30)			ケーススタディ (NPO・NGO) ~NPO・NGOの 理解と実務~ (SI)
3時限目 (14:50~16:20)			ゼミナール

(赤字は必修科目、青字は選択必修科目、黒字は選択科目)

※本例は土曜日のみ通学・最少登録Verのため、空いている曜日・時限に他の科目（オープンカレッジを含む）を履修することは可能。
 ※本時間割以外にLRの必修科目「人生100年時代のためのLife Redesignを考える～これからの人生に向けて～」の第4回を12月21日（土）に実施。全体をA・Bの2グループに分けて、Aグループは午前、Bグループは午後に受講（半日の集中講義）。

2024年度授業カレンダー（春・夏学期）

※12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。



※科目登録日程は調整中です

2024 **4** April

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

春学期

2024 **5** May

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2024 **6** June

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2024 **7** July

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

夏学期

2024 **8** August

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2024 **9** September

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2024年度授業カレンダー（秋・冬学期）

※12月9日現在の情報で、一部変更となる可能性がある。

入学式
 選択科目（自己分析講座）
 必修集中講義
 ゼミ発表会
 1次科目登録期間
 2次科目登録期間
 授業実施日
 補講日
 クラスワーク
 修了式

※科目登録日程は調整中です

2024 **10** October

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

秋学期

2024 **11** November

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2024 **12** December

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2025 **1** January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

冬学期

2025 **2** February

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2025 **3** March

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

キャンパスライフの楽しみ

日本橋 キャンパス	<ul style="list-style-type: none">• 地下鉄日本橋駅直結のコレド日本橋5階の日本橋キャンパスで開講• 授業やゼミ終了後などに、商業施設や飲食店が充実している日本橋を満喫
課外活動	<ul style="list-style-type: none">• 受講生同士の学び合い、教え合い（それぞれの得意分野について）のサポート• LRCサポーター、本学教員等を特別講師に招いての講演会• 事務局主催の課外活動や交流会などの季節のイベント• 外部NPOによるスタディツアーへの参加
自主的な 活動の支援	<ul style="list-style-type: none">• サークル活動やゼミメイト、クラスメイトとの自主的な課外活動を支援

様々な分野での活動

これまでの経験とLRCで得た学びと繋がりをもとに、多様な分野で活動することを想定

- 社会課題に関連する活動（ボランティア、NPO/NGO、社会起業など）
- 居住地域や修了生同士での社会貢献活動
- まったく異なる業種へのチャレンジ
- SNS等のメディアを活用したフリーランスとしての情報発信
- フリーランスのコンサルやプロボノとしての活動
- 学部、大学院への進学
- 学会や研究会に参加し学びを深める
- 学び合いなど、受講生、修了生同士の交流、自主的なサークル活動の継続、延長

修了後も継続するコミュニティ 「LRCアルムナイ会員制度」

- LRC修了生の会員制度を**大学が主体的に運営**
- 修了後も継続する活動や情報交換の場を提供
- LRC修了生として、LRCが企画する講演会やイベントおよび一部科目に参加可能（一部有料）
- 受講生ラウンジや中央図書館を利用可能、選択する会員種別によってはオープンカレッジの講座を割引受講可能（講座数上限有り）

企業やNPO・NGO等の団体との積極的な連携

- ・ プレシニア/シニアと社会との接続の実現を重視し、将来的には、大学と企業とプレシニア/シニアの好循環サイクルの形成を目的とするコンソーシアムの設立を計画中

改正高年齢者雇用安定法が令和3年4月から施行され、
企業の取り得る対応として同一企業での継続雇用のほか、
社会貢献事業に従事できる制度の導入といった選択肢も追加されているため、
この制度との接続も視野に入れる

想定する連携事例

- 連携企業退職予定者（退職者）をLRCへ受け入れ
- 連携企業や団体が展開する社会貢献活動の紹介、修了生の参画協力
- 連携企業や団体が展開する社会貢献活動をテーマとする寄付講座の設置
- 連携企業からのシニアモニター募集
- 連携企業や団体が必要とするスキルをもつ修了生との接続
- 連携企業や団体内の研修への接続（専門性を持つ修了生が講師に）
- 連携企業における退職予定者へのガイダンス実施（カリキュラム紹介、修了生との対話）
- その他、受講生の学びや修了生の活動の場の提供に関する取り組み

Life WASEDA UNIVERSITY
人生100年時代の大学

Redesign

College

遅すぎる学びはない。

受講申込方法・スケジュール等説明

受講資格	2024年4月1日現在50歳以上で、高等学校卒業（卒業見込み者を含む） またはこれと同等以上の学力があると認められた方
募集人員	70名程度
申込期間	2023年12月21日（木）～2024年1月31日（水）
選考方法	書類審査（課題エッセイ等）
選考料	10,000円
選考結果発表	2024年2月16日（金）
入学手続期間	2024年2月17日（土）～2024年2月29日（木）
受講料	年間484,000円（税込み）

2024年4月1日現在50歳以上で、高等学校卒業（卒業見込み者を含む）
またはこれと同等以上の学力があると認められた方※

※具体的な事例

高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者

高等専門学校卒業生

書類審査

「**受講申込ウェブフォーム (以下、ウェブフォーム)**」への入力内容を総合的に判断します。

12月21日正午以降にLRCウェブサイト内の「入学するには」
(<https://lrc.waseda.jp/admissions/>) のページ下段にウェブフォームへのリンクを設置します。このウェブフォームに必要事項全てを入力いただきます。

【注意】 入力に誤りのないよう、また手元に入力内容を保存するためにも同じページへ掲載されているExcel版の「LRC受講申込サポートツール」をダウンロードし、ウェブフォームへの入力前に手元のパソコン等で作成することを強く推奨します。

ウェブフォームへの入力は事前に作成したExcel版の「LRC受講申込書サポートツール」からコピーし、貼り付けると非常に簡単かつ入力誤りが少なくなります。

書類審査（課題エッセイ）

2024年度入学選考の課題エッセイは以下の3題です（3題とも要回答）。

※いずれも400字以内で記述すること。

- ・ Life Redesign Collegeへの志望動機を記述してください。
- ・ Life Redesign Collegeに期待すること（入学後の学びや学生生活など）を記述してください。
- ・ 最近気になったニュースについて、あなたの意見を含めて記述してください。

選考結果通知

2024年2月16日にウェブフォームに登録いただいた電子メールアドレスへ発信します。
選考結果に関するお問い合わせには対応いたしかねます。あらかじめご了承ください。

入学手続

入学手続期間（2月17日～2月29日）に、手続書類の提出と半期分の受講料（24万2千円）
の納入が必要となります。

※諸事情（未知の感染症の流行など）により、入学手続者が一定数に達しなかった場合は開講を取りやめる
ことがあります。その場合、すべての出願者および入学手続者より納入された選考料と受講料を返還します。

提出方法等詳細についてはLRC公式ホームページに掲載の
「Life Redesign College (LRC) 募集要項」を確認してください。

LRC公式ホームページURL : <https://lrc.waseda.jp/>

Life WASEDA UNIVERSITY 人生100年時代の大学 Redesign College

遅すぎる学びはない。

受講の様子・課外活動紹介

1期生修了時に実施したアンケートの「満足」・「やや満足」と回答された割合

質問① 学びについて：95.4%

質問② コミュニティ形成について：88.6%

質問③ 課外活動について：84.1%

質問④ 今後の人生をさらに充実させるための参考となった：100%

質問⑤ 総合評価：93.1%

よく考えられたカリキュラム、
イベントも盛りだくさんで楽
しく過ごさせて頂きました

LRCでの学びを今後の人生に
アウトプットできるように頑
張っていきたい

オープンカレッジ講座が質量
ともに圧倒的に優れていると
思いました

多くの出会いと学びがあ
りました、素晴らしい一
年間をありがとうございました。

論文という成果物を作成
したことが大変良い思い
出と記念になった

クラスのコミュニティは強固
です。お互いの得意分野で協
力できる関係性を持ってました。

LRCでは、受講生による自主的な課外活動のほかに、事務所主催による課外活動も実施しています。

開催月	内容
4月	入学式、クラス懇親会、サークル紹介
5月	東京六大学野球 早慶戦 観戦
6月	全体懇親会
7月	いとうまい子さん講演会
9月	認定NPO法人サービスグラント嵯峨代表講演会
11月	スタディツアー開催（NPO法人全国こども支援センターむすびえ、NPO法人小さな村総合研究所（丹波山村）、（株）ヘルパーリンク）※認定NPO法人プラチナ・ギルドの会との共催
11月	論文作成に役立つワード活用術
12月	関東大学対抗戦 早明戦 観戦
1月	フードダイバーシティ守護彰浩様講演会
2月	小澤綾子様講演会（受講生企画）
3月	最終成果物発表会、修了式、お祝いの会

受講生による自主的な課外活動)

LRCでは受講生による自主的な課外活動・サークル活動も推奨しております。現在10個のサークルがあり、多くのサークルで1期生と2期生が共に活動をし交流を深めています。

サークル名
国際交流サークルブリッジ
Japan Timesを読む会
生涯現役研究会
読書会サークル「リーヴル」
ラグビト
早稲田大学LRCクラシック音楽同好会
早稲田LRCサブカル研究会
早稲田 LRC リベラルアーツ「微熱教室」
cache cache (カシュカシュ)
EQカフェ

各サークルの活動概要は
LRCウェブサイトの
学生生活のページから
ご覧いただけます。

ご清聴ありがとうございました。